

平成三年度
帯広市教育賞
文化奨励賞

帯広市教育委員会

帯広市文化賞受賞者



いち の かわ まさ に
市 之 川 正 二

(78歳)

〈受賞理由〉

氏は、長年にわたり、尺八の演奏活動を続けるかたわら、帯広邦楽邦舞協会の会長として後進の育成にあたり地域における日本の伝統文化の継承発展に大きく貢献されました。

また、帯広市民劇場運営委員長在任中、道立帯広美術館誘致運動の一環として「ミレー展」「ロダン展」の成功に向け心血を注がれたことは、帯広十勝の多くの人々に深い感銘を与えました。

こうした氏の長年にわたる真しな活動とその功績は、地域文化の向上発展に大きく寄与するものであり、帯広市文化賞を贈り顕彰する。

〈略 歴〉

上田流十勝竹荘会代表（昭和52年～現在）
帯広邦楽邦舞協会会長（昭和55年～平成2年）
帯広邦楽邦舞協会顧問（平成3年～現在）
帯広市民劇場運営委員会委員長（昭和52年～昭和62年）
帯広市民劇場運営委員会顧問（昭和63年～現在）
十勝文化団体協議会文化賞受賞（平成元年）

帯広市文化賞受賞者



こ ばやし みつ え
小 林 満 枝

(72歳)

〈受賞理由〉

氏は、平原社美術協会並びに十勝で初の北海道美術協会の女性会員として、長年にわたり日本画の創作活動を続けられ、その作品は斯界より高く評価されています。

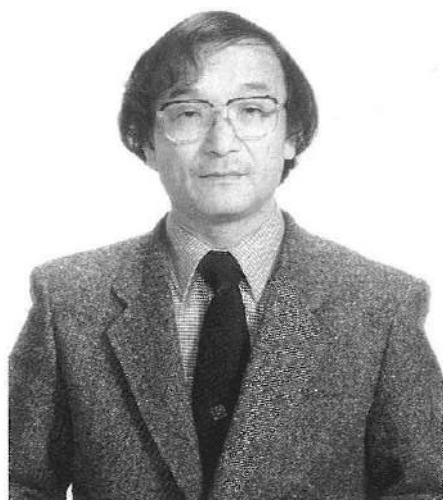
また、萌木会代表として日本画の研究をすすめ、本市における数少ない指導者として、後進の育成に情熱をかたむけ、日本画の普及向上に寄与した功績はまことに大きいものがあります。

よって、帯広市文化賞を贈り顕彰する。

〈略歴〉

- | | |
|-------|-------------------|
| 昭和29年 | 萌木会創設 |
| 昭和29年 | 萌木会会長（昭和29年～現在） |
| 昭和35年 | 平原社美術協会会員 |
| 昭和35年 | 北海道美術協会展（道展）入選 |
| 昭和39年 | 北海道美術協会展（道展）奨励賞受賞 |
| 昭和41年 | 北海道美術協会展（道展）会友 |
| 昭和42年 | 北海道美術協会展（道展）会友賞受賞 |
| 昭和43年 | 北海道美術協会展（道展）会員 |
| 昭和44年 | 北海道美術協会展（道展）審査員 |
| 昭和44年 | 萌木会帯広市文化奨励賞受賞 |
| 昭和59年 | 北海道立近代美術館に招待出品 |

帯広市文化奨励賞受賞者



みやざわ よしただ
宮澤 克 忠

(54歳)

〈受賞理由〉

氏は、平原社美術協会、新北海道美術協会、美術文化協会の会員として常に意欲的な創作活動을続けてこられ、各種展覧会で受賞されるなど、その作品は広く国内外に認められており、地域の美術文化の向上に大きく貢献されております。

また、地元唯一の公募展を実施している平原社美術協会の会長として、会の運営や後進の育成指導に尽力されております。

こうした氏の真しな活動は、帯広市の美術振興に大きく貢献されており、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰する。

〈略歴〉

- 昭和35年 平原社美術協会会員
- 昭和55年 新北海道美術協会展（新道展）札幌市教育委員会賞受賞
- 昭和56年 新北海道美術協会展（新道展）会員
- 昭和56年 新北海道美術協会展（新道展）北海道新聞社賞受賞
- 昭和56年 欧州国際展 スペイン・トリエンナーレ展入選
- 昭和59年 美術文化協会展 奨励賞受賞
- 昭和63年 欧州国際展 ソビエト美術賞展入選
- 平成元年 美術文化協会展 努力賞受賞
- 平成元年 美術文化協会展会員
- 平原社美術協会会長（平成元年～現在）

帯広市文化奨励賞受賞者



うら
浦

しま
島

ひさし
久

(38歳)

〈受賞理由〉

氏は、国際化が叫ばれている今日、世界に目を向ける若い人材の育成に努力され、また、帯広北海道を紹介する英文雑誌「Northern Lights」の編集発行に情熱を傾け、地域に生きる人間と風土を広く海外に紹介されています。

こうした氏の真しな活動は国際文化交流に大きく寄与するものであり、今後ますます期待するところが大きいので、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰する。

〈略歴〉

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 昭和52年 | 英会話スクール開設 |
| 昭和55年 | 英文雑誌「Northern Lights」創刊（年1回発行） |
| 昭和60年 | 北海道青少年科学文化振興賞受賞 |
| 平成2年 | 北海道国際文化交流奨励賞受賞 |